

機械式時計講座

小牧 昭一郎 著

単行本：B5 版 264 頁

本体価格 ¥8,600 (¥9,288)

東京大学出版会

ISBN 978-4-13-068800-0

2014 年 8 月刊行

1970 年代以降デジタル時計の発展に伴い、機械式時計のシェアは縮小してきたが、近年その魅力が見直され、販売台数も増加の傾向にある。

小牧昭一郎氏は長く雑誌「世界の腕時計」で機械式時計の技術的な講座の連載をしており、1960 年代、セイコーの機械式時計が世界レベルの精度を達成したときの立役者である。

小牧氏の連載を見るためだけに「世界の腕時計」を購入していた人もあったというので、本当に待ちに待った教科書発刊である。

小牧氏の説明は本文だけでなく、脚注の解説に興味深い話が書かれているのが特徴で、脚注が見逃せない。

【主要目次】

- 第一章 どのように機械時計は動くのか
- 第二章 どのように歩度は決まるのか
- 第三章 どのように振り角はきまるのか
- 第四章 どのように歩度は測られるか
- 第五章 こらからの機械時計



http://www.amazon.co.jp/%E6%A9%9F%E6%A2%B0%E5%BC%8F%E6%99%82%E8%A8%88%E8%AC%9B%E5%BA%A7-%E5%B0%8F%E7%89%A7-%E6%98%AD%E4%B8%80%E9%83%8E/dp/4130688006/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1464481790&sr=1-1&keywords=%E6%A9%9F%E6%A2%B0%E5%BC%8F%E6%99%82%E8%A8%88%E8%AC%9B%E5%BA%A7